

低汚染型高耐候性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DC

ハイウェザー DC

高耐候性弾性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DANSEI

ハイウェザーダンセイ



高耐候性 + 低汚染

高耐候性 + 高弾性

低汚染型高耐候性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DC

ハイウェザー DC

高耐候性弾性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DANSEI

ハイウェザーダンセイ

高耐候性1液水性塗料「ハイウェザーシリーズ」は、紫外線劣化(つや引け、変色)を防ぐHALS(光安定剤)と、耐水性をアップさせるCHMA(耐水モノマー)を塗料を構成する樹脂の骨格に組み込んだハルスハイブリッド樹脂塗料です。

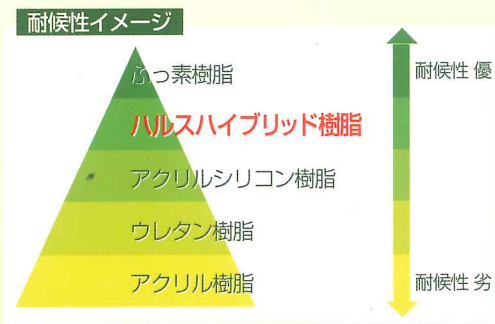
その耐候性能は、外壁塗装で通常用いられる『アクリルシリコン樹脂塗料』を上まわり、フッ素樹脂塗料に迫る性能を有する、コストパフォーマンスにすぐれた『環境配慮型塗料』です。

「ハイウェザーシリーズ」は、低汚染タイプの『DC』と、高弾性タイプの『ダンセイ』の2種類。塗装する下地に合わせて選ぶことができます。

特長

① ぶっ素樹脂塗料に迫る高耐候性を有しています。

紫外線による樹脂の劣化を防ぐHALS(光安定剤)と、耐水性を飛躍的にアップさせるCHMA(耐水モノマー)を樹脂の骨格に組み込んだ、ハルスハイブリッド樹脂を用いた塗料です。その耐候性は、アクリルシリコン樹脂塗料を上回り、ぶっ素樹脂塗料に迫る高耐候性となっています(耐候型1種相当)



② 低汚染性が非常に優れています。(ハイウェザーDC)

親水性で緻密な塗膜は排気ガスや煤煙に含まれている親油性汚染物質との親和性が小さく、汚れの付着を防ぎます。また、たとえ付着したとしても、雨水により、汚れが洗い落とされやすくなっています。

③ つや調整が可能です。(ハイウェザーDC)

建物の美装上「つや消し仕上げ」が増加しております。その要求に応えるため、ハイウェザーDCについては3分つやから7分つやまでつや調整が可能です。

④ 躯体にクラックが生じてても、塗膜が伸縮して防水性を維持します。(ハイウェザーダンセイ)

高弾性の中塗材と組合せることにより、躯体に発生したクラックに追従して塗膜が伸びて、雨水などの侵入を防ぎ躯体を保護する弾性性能を有しています。

⑤ 防カビ・防藻性に優れています。

⑥ 作業性が良い

水系1液タイプで、調合の手間や可使時間の制限がなく、安定した性能が得られます。ハイウェザーDCは水系塗料としては、乾燥性が良く、通常1日で2回塗装が可能です。

また、ハイウェザーダンセイは、旧塗膜が高弾性塗料であっても塗装可能です。

(社) 日本塗料工業会登録

登録番号 T 01035

ホルムアルデヒド
放散等級分類記号 F☆☆☆☆

問い合わせ先 <http://www.toryo.or.jp>

低汚染型高耐候性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DC

ハイウェザー DC

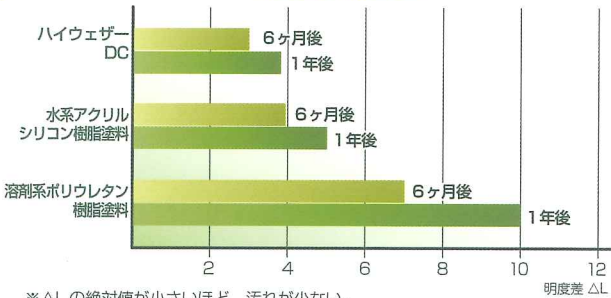


用途

改修用にも新設用にも使用できます。

- ・建築物外部・内部の上塗り。
- ・建築仕上塗り材 (吹き付けタイルなど)の上塗り。

汚染性比較 屋外暴露6ヶ月後と1年後の 明度差を測定比較



※ΔLの絶対値が小さいほど、汚れが少ない。
 ※低汚染型塗料としての「基準」は現在ありませんが、一般的には汚れが目立ちにくいと判断されるレベルはΔLの絶対値が7~10程度以下と考えられています。

低汚染性について

ハイウェザー DC は、塗膜に親水性を付与し雨筋汚れ防止機能を持たせてあります。ただし、使用部品及び過酷な条件下では、機能を十分発揮しない場合もありますので、ご注意ください。

- ①雨の当たらない部分
- ②アール部の下方部位や構造上に起因して雨筋が付きやすい部分
- ③シーリング材に起因する場合

標準塗装仕様例

1. コンクリート・モルタル・各種サイディング (無塗装板) 押出し形成板の平滑仕上げ【新設】

※1 コンクリート・モルタル・各種サイディング用

工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
1 素地調整	○素地は十分に乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下にする。 ○付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違い、巣穴などを補修調整する。					
2 下塗	セラシーラーW ※1	1	0.10 ~ 0.15	無希釈	はけ、ローラー、エアレス	1 時間以上
3 上塗	ハイウェザー DC	2	0.14 ~ 0.17	水道水 3 ~ 10%	はけ、ローラー、エアレス	3 時間以上

2. 複層模様仕上げ材のテクスチャーを変えたい場合

工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
1 下地調整	○旧塗膜にぜい弱な層がある場合はサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどを用いて除去しセメントフィラーなどで段差を修正後、パターンを復元を行う。 ○高圧水洗にて旧塗膜に付着している埃、汚れ、劣化粉状物を除去する。 ○亀裂、くぼみ、ピンホールはセメントフィラーなどで処理する。					
2 下塗	各種タイルベース・微弾性フィラー					
3 上塗	ハイウェザー DC	2	0.14 ~ 0.17	水道水 3 ~ 10%	はけ、ローラー、エアレス	3 時間以上

3. 各種サイディング材【塗り替え】

工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
1 下地調整	○旧塗膜にぜい弱な層がある場合はサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどを用いて除去しセメントフィラーなどで段差を修正後、パターンを復元を行う。 ○高圧水洗にて旧塗膜に付着している埃、汚れ、劣化粉状物を除去する。 ○亀裂、くぼみ、ピンホールはセメントフィラーなどで処理する。					
2 下塗	セラシーラーW	1	0.10 ~ 0.15	無希釈	はけ、ローラー、エアレス	1 時間以上
3 上塗	ハイウェザー DC	2	0.14 ~ 0.17	水道水 3 ~ 10%	はけ、ローラー、エアレス	3 時間以上

◎荷姿 容量 15kg/石油缶 ◎色相 各色 (艶調整は全色可能、3~7分つや)

適用下地

各種タイルベース・微弾性フィラーの他、セラシーラーW、MS などの下塗りを選択することにより、各種素材、旧塗膜に適用できます。

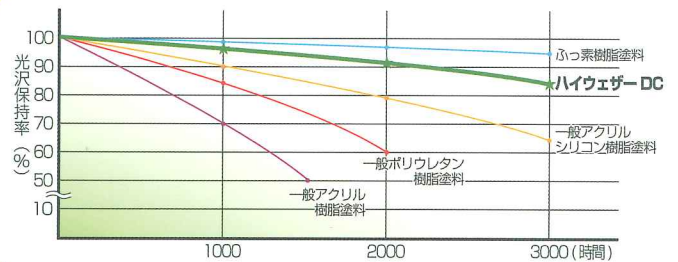
塗り替え

- ① 旧仕上げ塗材：リシン、吹き付けタイル、スタッコなど
- ② 旧塗膜：塩化ビニル樹脂塗料、アクリル樹脂塗料 (水系・溶剤系)、ポリウレタン樹脂塗料

新設

- ① 各種サイディング材、セメントモルタル、打ち出しコンクリート、ALC パネル、繊維強化セメント板、PC 板など

促進耐候性試験 (サンシャインウェザーメーター)



耐汚染性 (屋外暴露6ヶ月)



ハイウェザー DC

水系ウレタン

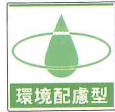
水系アクリル

(社) 日本塗料工業会登録
登録番号 T01036
ホルムアルデヒド 放散等級分類記号 F☆☆☆☆
問い合わせ先 http://www.toryo.or.jp

高耐候性弾性ハルスハイブリッド樹脂塗料

High Weather DANSEI

ハイウェザーダンセイ



用途

改修用にも新設用にも使用できます。

- ・建築物外部・内部の上塗り。
- ・建築仕上塗材（吹き付けタイルなど）の上塗り。

適用下地

■ 塗り替え

- ① 旧仕上げ塗材：リシン、吹き付けタイル、スタッコ、弾性塗材など
- ② 旧塗膜：塩化ビニル樹脂塗料、アクリル樹脂塗料（水系・溶剤系）、ポリウレタン樹脂塗料

■ 新設

- ① 各種サイディング材、セメントモルタル、打ち放しコンクリート、ALCパネル、繊維強化セメント板、PC板など

標準塗装仕様例

各種サイディング材【塗り替え】

工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
1	下地調整					
2	下塗	1	0.10 ~ 0.15	無希釈	はけ、ローラー、エアレス	1時間以上
3	上塗	2	0.14 ~ 0.17	水道水 3 ~ 10%	はけ、ローラー、エアレス	3時間以上

◎荷姿 容量 15kg/石油缶 ◎色相 各色(艶調整は全色可能、3~7分つや)

■ 注意事項 ■

■ 使用上のご注意

- 低温(5℃以下)高湿度(85%以上)での塗装はさけてください。
- 降雨・降雪・結露・強風が予想される場合は塗装をさけてください。
- 旧塗膜、素地の種類、状態により下塗り(シーラー)の選択が必要です。その場合、詳細は弊社にご相談ください。
- 塗料の安全性・衛生に関する注意事項は容器及び安全データシート(SDS)に記載していますので、ご確認の上で使用ください。

■ 取り扱い上の注意事項(業務用)

1. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。容器からこぼれた場合は、砂などを散布したのち処理してください。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
3. 目に入った場合は多量の水で洗ったのちに、また誤って飲み込んだ場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。
4. よくフタをし、一定の場所を定めて保管してください。
5. 子供の手の届かないところに保管してください。
6. 中身を使いきってから廃棄してください。

■ 安全衛生上の注意事項その他の注意事項につきましては、安全データシート(SDS)をご参照ください。

株式会社トウペ

ホームページアドレス <http://www.tohpe.co.jp/>

	TEL	FAX
本社 塗料相談室	592-8331	(072)243-6452
東京事務所	110-0015	(03)3847-6441
北海道営業所	061-1111	(011)372-4511
仙台営業所	983-0852	(022)355-7076
北関東営業所	306-0213	(0280)92-5951
東京営業所	110-0015	(03)3847-6420
北陸営業所	933-0251	(0766)86-3581
名古屋営業所	460-0003	(052)232-8230
大阪営業所	592-8331	(072)243-6421
中四国営業所	713-8103	(086)526-1708
九州営業所	811-0123	(092)962-1521

	TEL	FAX
三重工場	519-1402	(0595)45-4131
茨城工場	306-0213	(0280)92-1571
倉敷工場	713-8103	(086)525-1821
九州工場	811-0123	(092)962-2661

■ 取扱店

●このカタログの内容について詳しくお知りになりたい方は、お近くのトウペ取扱店におたずねになるか、当社にお問い合わせください。
●仕様その他は改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。